



舞鶴市議会最年少議員

かも だ

# 鴨田あまつ通信

後援会だより Vol.15

発行/鴨田あまつ後援会  
舞鶴市字境谷158  
TEL0773-75-0800  
mail k.akitsu3@gmail.com

## 維新、比例で野党第1党も京都で競り負け

令和4年2月4日付けで日本維新の会所属の議員となり、初めて迎えた夏の参院選。2枠を争った京都府選挙区において、維新のくすいゆうこ候補は2位の候補者と約1万7千票の差で次点となり惜敗いたしました。

今回の選挙でくすいゆうこ選挙対策本部の京都北部全体のエリア長を務めておりましたことから、その責任を痛感しております。ご期待に添えることができず申し訳ありませんでした。しかしながらこれまで我が党が根付いていなかった京都府そして舞鶴市において、我々に期待する市民の皆様から大きなご期待をいただいたことも事実であり、改めて感謝申し上げます。



さて細かく分析をしますと、京都府全体で維新に投じていただいた比例票は約242万票で、自民の約263万票に次いで第2位に躍進しました。また舞鶴市では、自民9,761票に対して維新9,289票と肉薄する結果となり、自民党が圧倒的に強い保守王国舞鶴において、改革に期待する市民の皆さんの強い思いを感じました。この数字を3年前の参院選と比較してみると、舞鶴における維新の得票率の上昇幅が19.5%となり、全国の自治体でトップであり、新聞でも報道されました。

我々が掲げる「教育の無償化」「出産費用の無償化」「安全保障の強化」などの政策を国及び地方でもしっかりと実現するためには、まだまだ国会議員並びに地方議員の人数が不足しております。

ご承知の通り、舞鶴市では今年11月舞鶴市議、来年2月舞鶴市長、来年4月京都府議と選挙が3つ続きます。子ども達が将来にわたって誇れる舞鶴市を取り戻したい。その為にも、批判を恐れず、反論を恐れず、選挙を恐れず、舞鶴の未来のために挑戦する方を募集しています。学歴など関係ありません。熱い思いがあればそれで良いです。我こそはという舞鶴市民の方、是非ともご連絡ください。共に挑みましょう。

令和4年8月吉日 鴨田 秋津

令和4年  
6月定例会

## FMまいづる中継局問題を徹底的に!

### ■FMまいづる中継局の問題とは

FMまいづるが所有する五老ヶ岳の固定局に加え、大浦地域と加佐地域に中継局2局を設置し、受信エリアの拡大を図り、防災情報の充実と強化を図るもので、加えて有線によって放送データを送信されていたものを無線に移行させる。これが事業の概要です。



平成30年度の調査・設計等から始まり、令和3年度まで総事業費約1億6,000万円を使った大事業でした。**ところが中継局が正常に作動せず、工事が完了しても加佐地区でFM放送が聴けないことが判明。**以降、私はこの件を大きな問題として認識し、その理由や経緯、今後の方向まで、議会で追及を続けております。具体的には、設計会社に瑕疵がないか、仕様書に不備はないか、市の管理監督責任等について言及して参りました。

しかし失敗の原因は、「本市には国の様々な機関があり、山あり谷ありの地形も加わり、地形や自然の影響を受けたもの」との答弁に終始し、設計会社にはノウハウと技量があった会社であったと市は断言しています。そこで私は舞鶴市、FMまいづる双方からの話をしっかり聞くために、免許人であるFMまいづるが2回に渡って議員向けに開催した説明会に(新政クラブ、創政クラブ、公明党の議員は誰一人参加しなかった)すべて出席し、誰よりも理解を深めてきました。

さて、この失敗を手直すため本来支出する必要がなかった税金約2,000万円を使って、応急的に有線で整備した後、加佐地域に新たに無線受信局を設置し、無線通信を可能とする再工事が令和3年9月定例会で提案されました。二度と失敗を繰り返すことのないように、手法について十分に議論されたうえでの予算計上であったのかとの委員会質疑において、「100%無線化できるとは言えない」との不安定な答弁であったことから、**私達の会派ではこの補正予算案にも反対した経過があります。**そしてこの度、これら一連の経緯を問題視された市民が令和4年3月29日に舞鶴市監査委員に対して、住民監査請求をされました。ところが舞鶴市監査委員が出した結果は全面棄却。これらについて徹底的に追及しました。



コミュニティFM中継局設置設計・工事及び入札等について

- (1) 住民監査請求を棄却と判断したことについて
- (2) 入札・契約の在り方について
- (3) 加佐地区に電波が届かず実施した再工事と五老送信所について



災害が頻発する昨今。有線より無線放送が安心。

(3)については、2,000万円を使って追加で行った無線化工事完了後も**未だに無線で放送が聞けないことが判明。**また、五老送信所に設置した機器が高温で故障する可能性があるにも関わらず、クーラー等冷却設備を設置する対策がなされていない新たな事実を追及。**放送事業者から再三指摘されているにも関わらず、問題として認識していないとの答弁。**市の体質が露呈しました。今後もこの問題を徹底して追及していきます。

質問の動画は  
YouTubeで  
いつでも閲覧できます

